

6. 今後の検討課題（案）

本基本構想では、小美玉市小中一貫教育基本方針等を踏まえた上で、地域特性を考慮した玉里地区小中一貫校（仮称）における施設整備の方向性を検討してきました。

今後は、基本構想を基に、小中一貫校の特性を活かした魅力ある教育活動をより効果的に実現する施設づくりの検討を深めていくことが必要です。

基本設計・実施設計を進めるにあたり、設計における諸課題の段階的な解決及び基本構想の具現化を進め、具体的な施設環境・形態を構築します。

以下に、現段階で明らかとなっている今後、検討すべき課題について整理します。

1. 長期的な視点に立った施設整備

コンパクトで機能的な施設及び長期的な維持管理を見通した計画

- 施設の合理性及びライフサイクルコスト^(注)等を勘案した持続可能な施設づくりを実現する全体計画の検討

2. 施設形態別の特性や学習・生活環境

B-②案を基に、敷地の有効活用、効率的な学校運営を踏まえた施設整備計画

- グラウンド、駐車スペース等の必要な面積を確保し、効果的な校内動線を実現する配置計画の検討
- 有効的な学習活動を行うために必要な教室まわりの構成や教育空間を実現する平面計画の検討

3. 周辺環境や校内における日照

B-②案に対する懸念事項（主要道路の日照影響や教室の採光について）を緩和する計画

- 敷地境界からの離隔距離や諸室の高さ及び屋根形状等の適正な設定により、日照影響の緩和を実現する断面計画の検討

4. 周辺環境に適する景観

公共建築に相応しい景観を確保するための計画

- 景観に配慮した形状や材料の選定等により、周辺環境との調和を実現する立面計画の検討

5. 地域特性を活かした教育環境

玉里地区の豊かな自然環境を身近な教材として、教育活動に有効活用するための計画

- 霞ヶ浦の水生生物等の観察を学習活動の一環として利用できる施設環境を実現する外構計画及び設備計画の検討

(注) ライフサイクルコスト：建物の計画・設計・施工、維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用のこと